



作:窓際ななみ



作:窓際ななみ

登場人物紹介




如月舞里（きさらぎまいり）
高校三年生
未来観測研究会の創立者



皐月優子（さつきゆうこ）
高校一年生
少し気が強い女の子



竹下さん（たけしたさん）
ホビー系通販会社の
システムエンジニア




新入生のみなさん

この研究会の
テーマは


『未来を観測する』
です

第二視聴覚室

今日は
この研究会の説明会に
よく来て下さいました




その手段は
問いません



科学的…
オカルト的…
何でも構いません

ありとあらゆる
可能性を検討して
いきます



それがこの
研究会





学生だから無理とか
思っがもしれません



未来研究は
世界でも多くの学者が
挑戦しています



しかし学生だからこそ
柔軟な考えをもって
物事を新しい方向で
考えることもできます

人はまだ見ぬ
新しい世界を
目指しているのです



研究に必要なことは
前に進むこととする
意志なのでから



それでは今回は
未来の話の前に



『過去について』
話してみたいと
思います

それでは今回は
未来の話の前に



過去の事を見るという事は出来るのでしょうか？

それはあまり難しくは無いかもしれませんが



例えばビデオなどに録画してそれを見る

例えば
本などから情報を引き出し
過去を想像する



もっと簡単に
体感できる例として

これらはどちらか
も過去を観測するという
事になるかと思えます



私達が今見ている
太陽の光です



太陽の光は
地球に到達するまでに
8分ほどかかります

太陽からみれば
この光は過去のものだと
言えるでしょう



このように
過去を見る捉え方には
様々なものがあります



未来観測も
視点を換えれば発見出来る
かもしれません



素晴らしい未来を
見ることを

私と一緒に挑戦して
見ませんか？



くだらない



未来を見るの行為が素晴らしい？

そんなわけ無いじゃない

未来なんか見ない方がいい



その方が人間にとってきっと幸せなのよ



結論を出すには
早いんじゃないかしら



確かに未来を見るのが
全て素晴らしいことでは
ないと思うけど

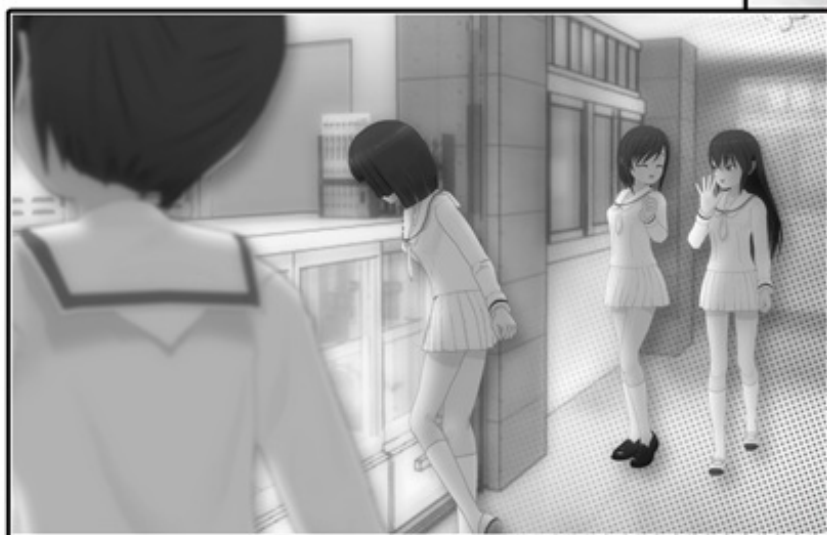
確かに
そういった議論も
必要ですね



今度
お話しませんか？

もし
良かったら







私のことは気にせず
召し上がって下さい


栄養補給は
体にとって重要
ですからね




未来観測研究会

VOL.2







私なりに考えてみたの
どうしてあれほど怒ったのか




もしあなたが
不吉な未来観測を
体験していたなら




わたし的には
納得ができるの




……
不吉な未来を見た
仮定してなお




はあ……
だったら今日の
放課後



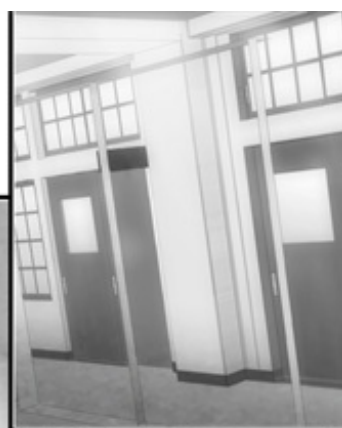
第二視聴覚室で
二人きりで話しましょうか



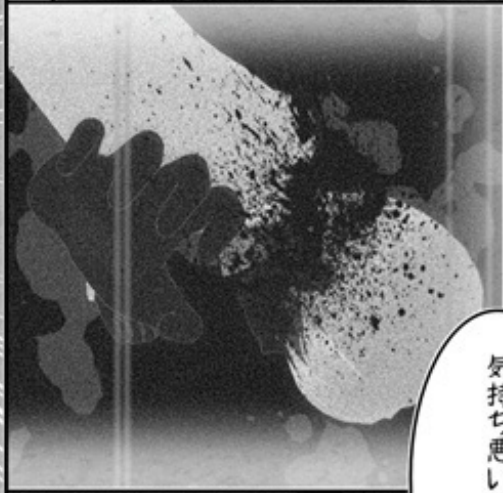
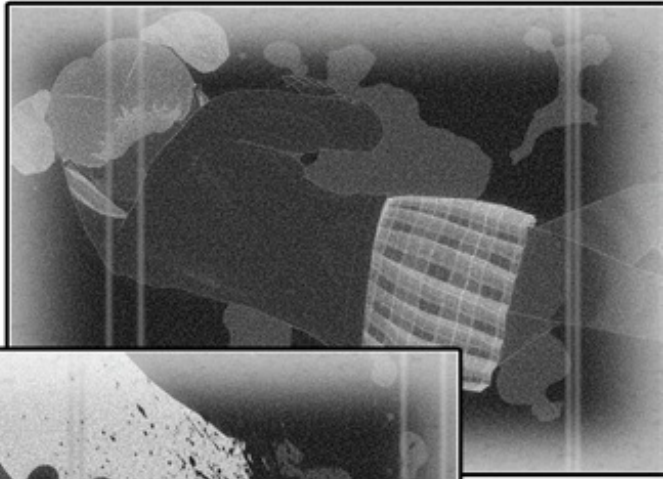
踏み込んで
聞くんですか？



先輩に覚悟が
あるならですが







気持ち悪いでしょ？

これが先輩の言っていた
素晴らしい未来観測の映像よ



でも…
その苦しみも
もうすぐ終わり

先輩も
見たでしょ？



いままであった
その時の時間や場所
そして状況



今でも鮮明に
思い出すわ…



私が死ぬ姿を...



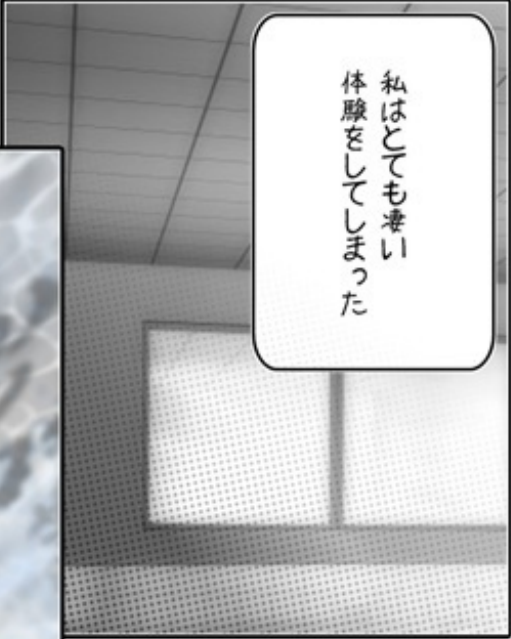
先輩...
良かったですね

私が死ぬことを
観測することによって




先輩の未来観測は

証明されるのだから




私はとても辛い
体験をしてしまった




未来観測とも
呼べる事例を

体験したのだ




だが
その内容はとても
残酷なものだった

私は自分に問う
未来観測をした私は
どうしたいのだろう



未来を呪い
絶望に打ちひしがれる
のが…

未来に逆らい
もがき苦しむのが



今回の研究は

少し趣向を
変えてみよう



未来観測の予測が





まずは
情報の整理をしよう

今回の情報源は
彼女の記憶だ



口づけによる
記憶の伝達：
その行為自体非常に
興味があるが

それは
また別の機会に調査
することにしよう



私はその記憶から
得た情報をデータとして
まとめることにした

記憶などというものは
曖昧なものだ
なるべく鮮度の高いうちに
形として残すべきだろう



とりあえず
記憶にあった人物



29人…



嫌悪感のある映像を
思い出す度に
吐き気がするが

今はそんなことは
言ってられない



いいえ…
彼女を含めて
30人ね

私の記憶が鮮明な内に
場面の詳細を記録しよう



彼女の過去の記憶は
鮮明だった

時間・場所・状況が
はっきりしていた



ただしそれは
過去の彼女の記憶
のみだ



彼女の死ぬ
未来観測の記憶は
日時も場所も状況も
あやふやだった

分かっているのは
彼女が倒れている
という状況くらい

今は分かっている
事例だけ確認して
演じていこう



……うん
やっぱり

ネットでの情報収集
だけだと限界があるわ

なまじり……

現地
に行くまでだ



私は
私ができることを
やり遂げる

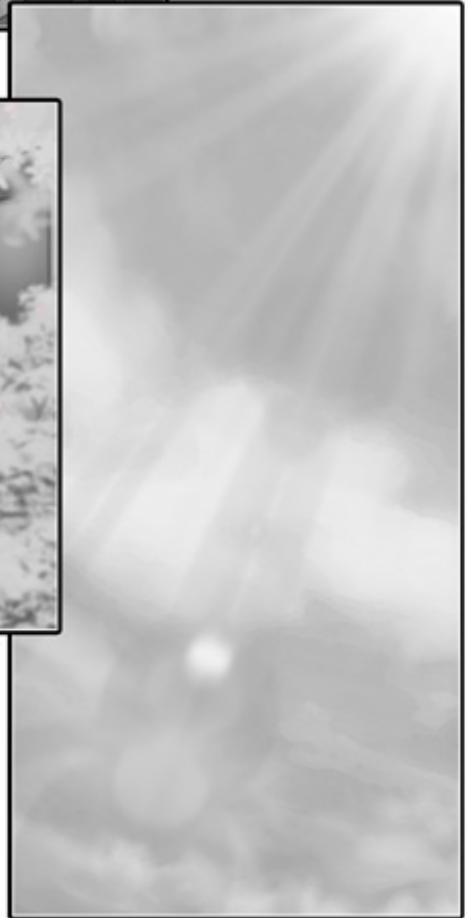
きっと
それが



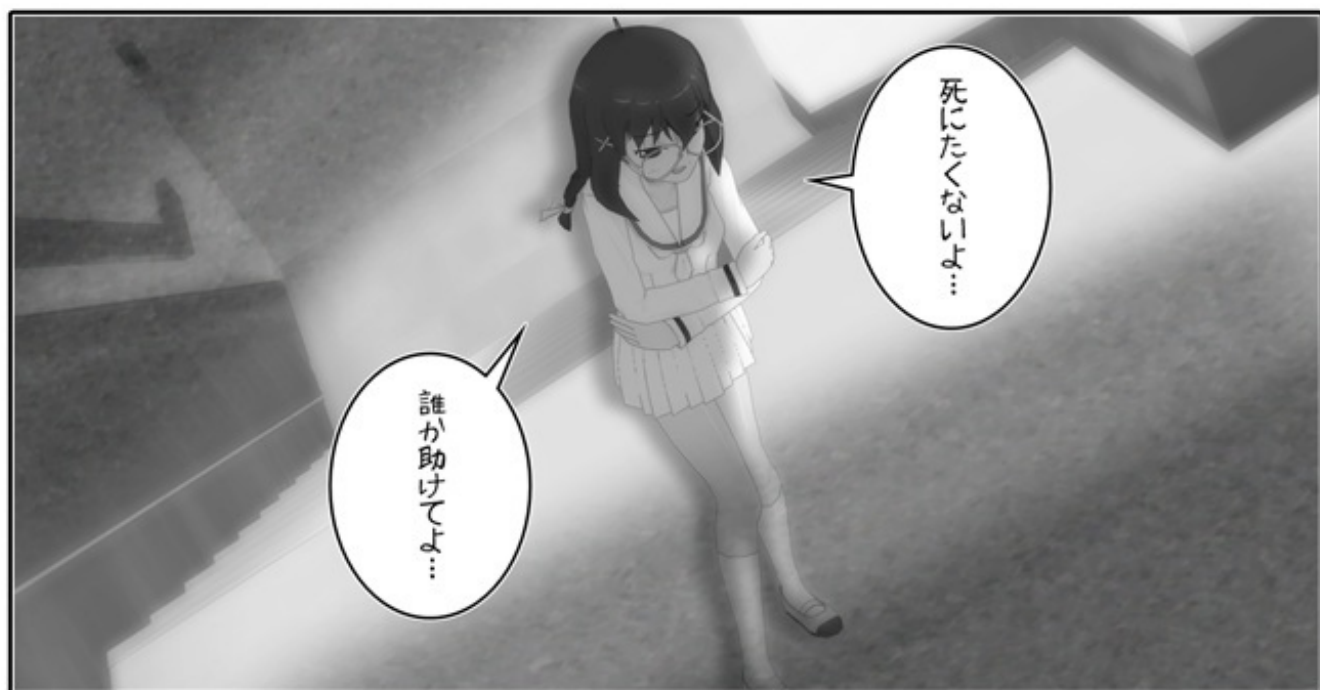
前に進むことが
できる



たった一つの
方法だと思っから







竹下さん
お話聞きたいって
お客様が来てますけど

ええ？
今忙しいから保険の
勧誘とかなら後でって
いってもらえる？

いえ…
女子高生っぽい
女の子なんですけど…

アムドゥー！





こちらにいらっしやる
竹下さんという方に
少しお話を聞きたくて…

突然おじゃまして
すみません

………
あなた誰？

それに臭うし…
ちよつとこっち
来なさい

す…すみません…
ちよつと徹夜続き
でして…

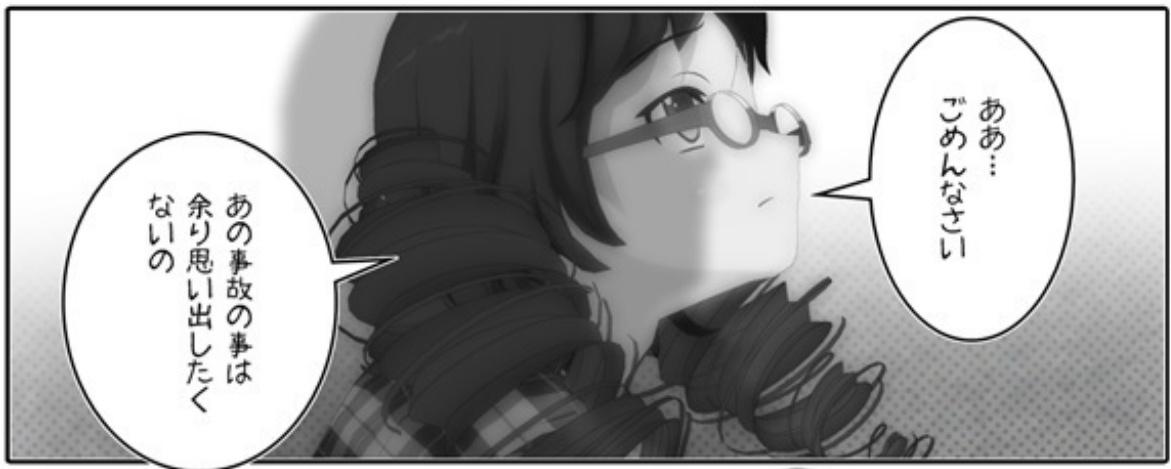
それ以前に
なんでそんなに
ボロボロなの？

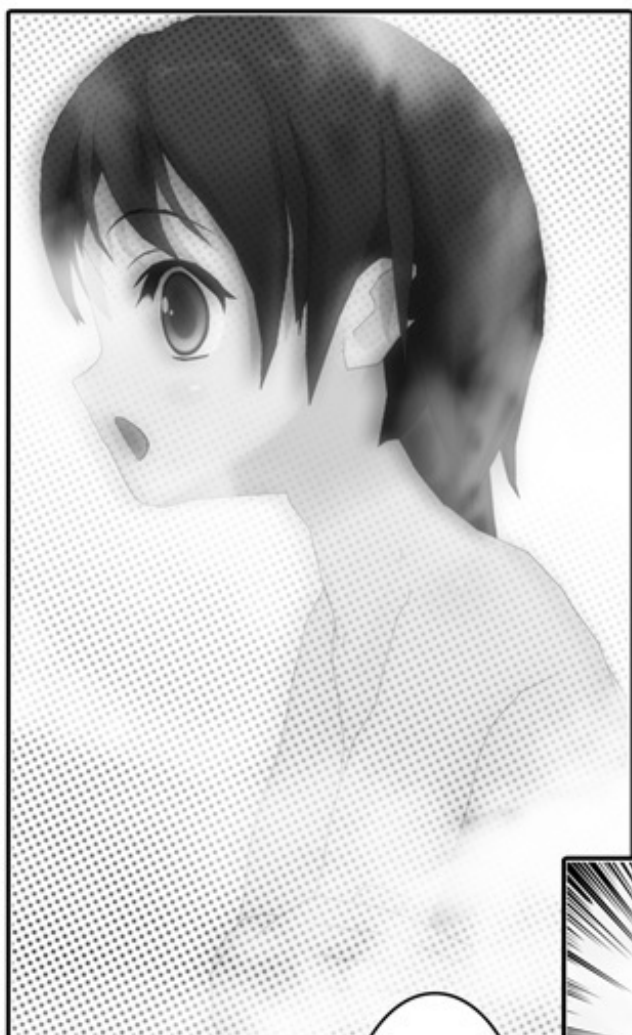
え…！
あの…話を…！

未来観測研究会

VOL.4







あの事故で被害者は
障害を負ったわ…
まあ私生活には影響ないけど

その後は離婚して
今はしがないSEをやって
暮らしているんだけど



勝手に殺さないでよ

当事者が目の前に
いるんだから



もしかして今も
生きていらっしやるん
ですか！









なぜこんなにも
不安を感じるのだろう

……
……
……
希望が見えてきたと
いうのに……



まだ近場で事故とか
ニュースは入っていない

彼女の未来予測は
事故に見えた……
まだきつと大丈夫よ



!

あの子！
よかった…まだ！



めくじりTのめ



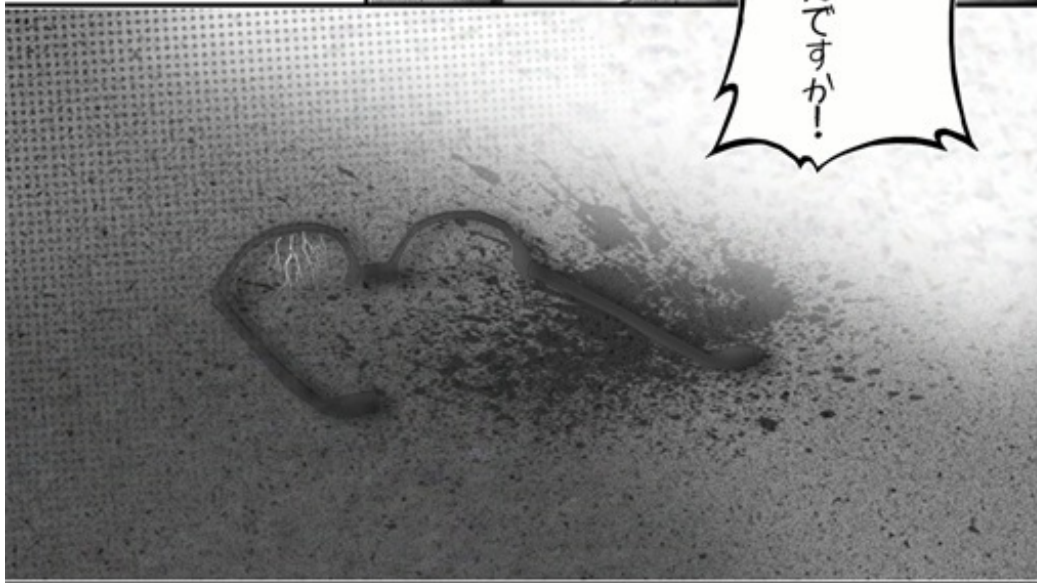
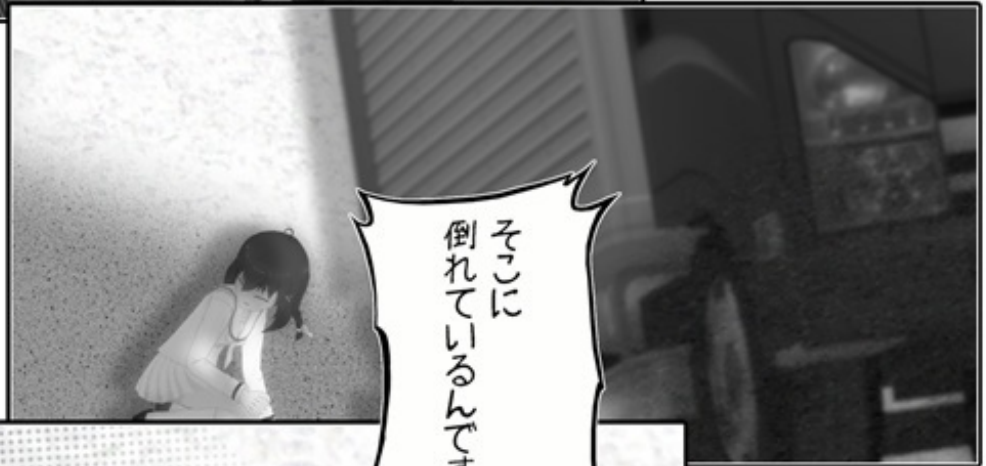
嫌な予感がする







...痛い...

私...
いき...てる...?






私にとって



あの事故から
一年がたった


事故当初
私はかなりやばかった
らしい

高校三年の二度目の
春がやってきた




医者是最初
絶望的とかいって
いたが

きっと
ヤブ医者だったの
だろう



リハビリ中に
知り合った小学生
からは

その驚異的回復力から
「ソンビちゃん」という
あだ名をもらった



さて
行きましようか



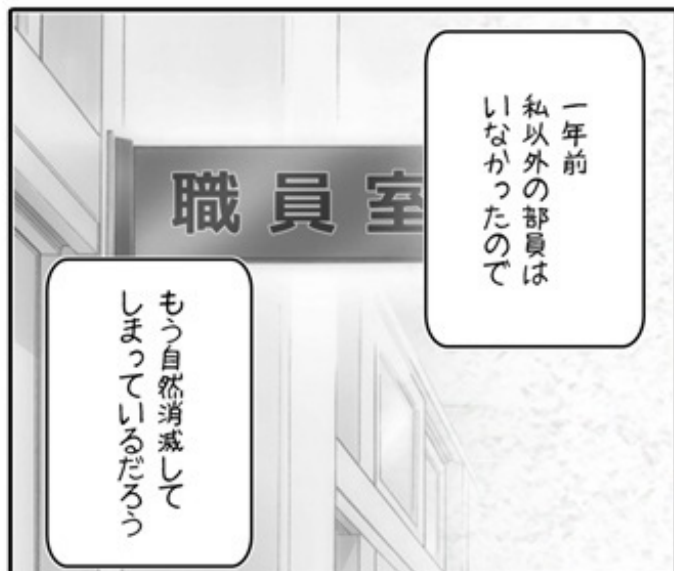
ああ
実に嬉しくない

そんな病院生活も
終わりを告げた



未来観測研究会

VOL.5



一年前
私以外の部員は
いなかったの
で

もう自然消滅して
しまっているだろう



まず
すべきことは

未来観測研究会の
復活だ



すみません…
昨年継続申請
だせてなくて

うーん…ちよっと
待っててね



え…
同好会の申請？

三年生は新規の
申請はできないんだけど
他に部員いないの？



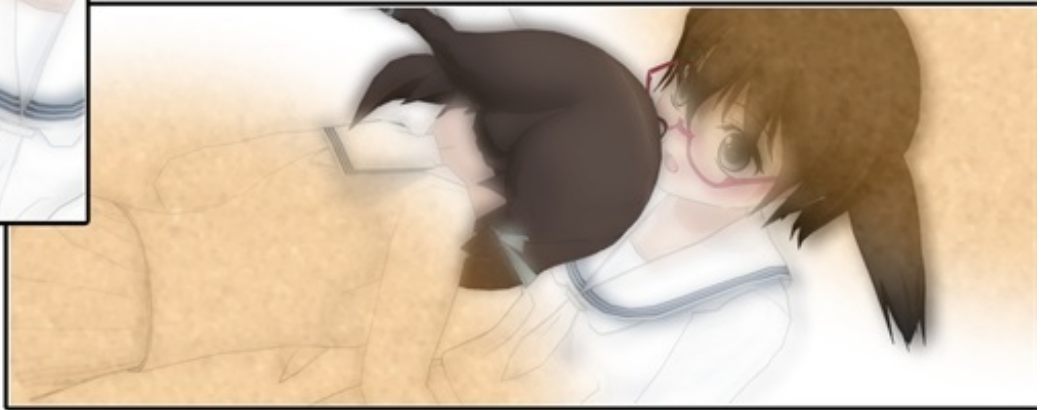
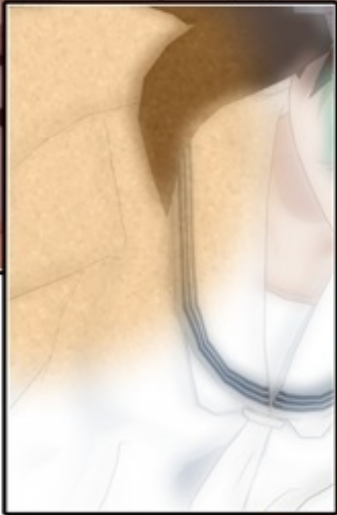
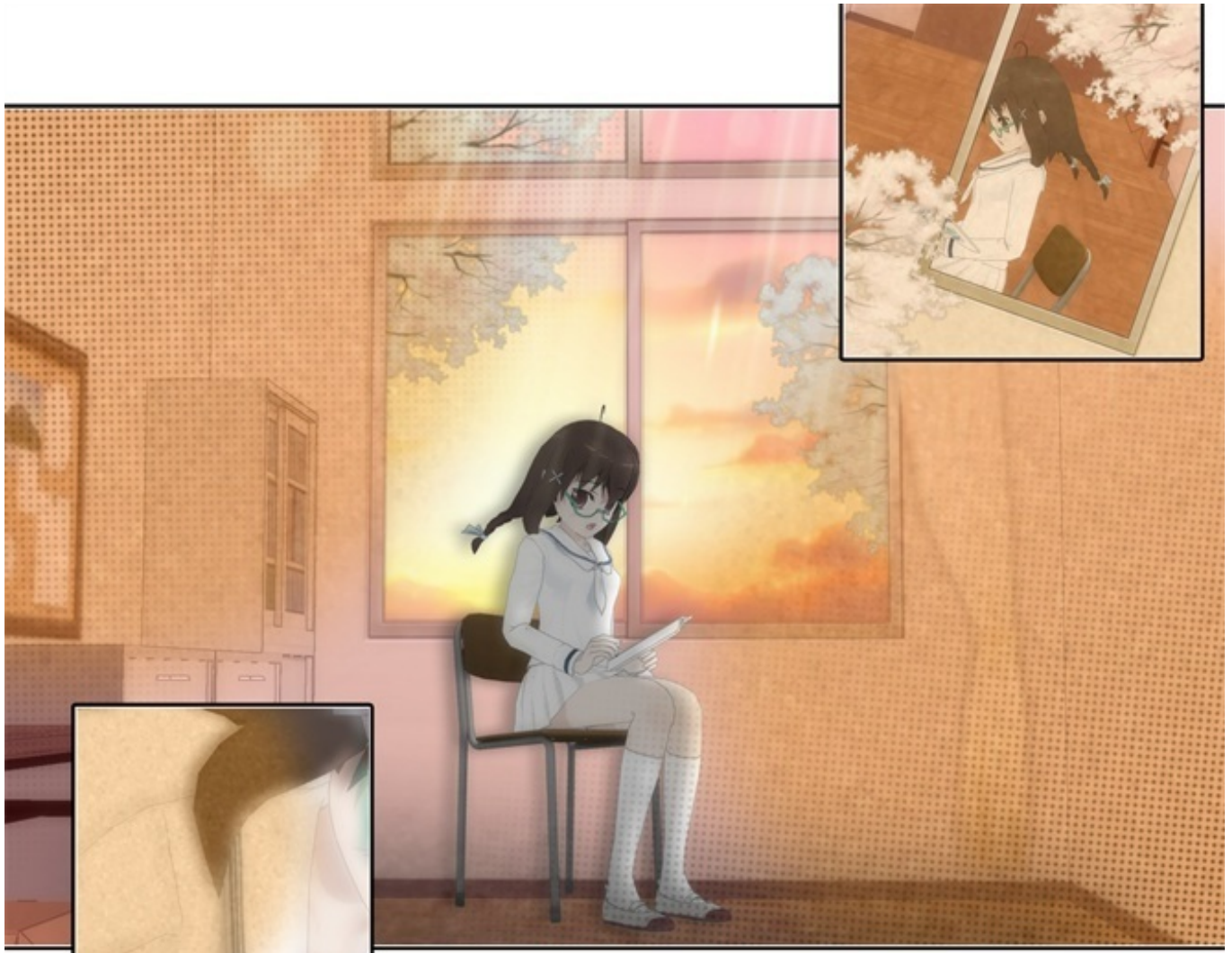
あら？
確か未来観測研究会
だったわね

はい



それなら昨年に
継続申請されているから
存続しているわよ









だって
私が死ぬ未来を

あなたは
見てなかったじゃない



あと…あなたがなぜ
研究会に見学に来たのか
気になってたの

もしかしたら
未来を変えたいと
期待したのではないが

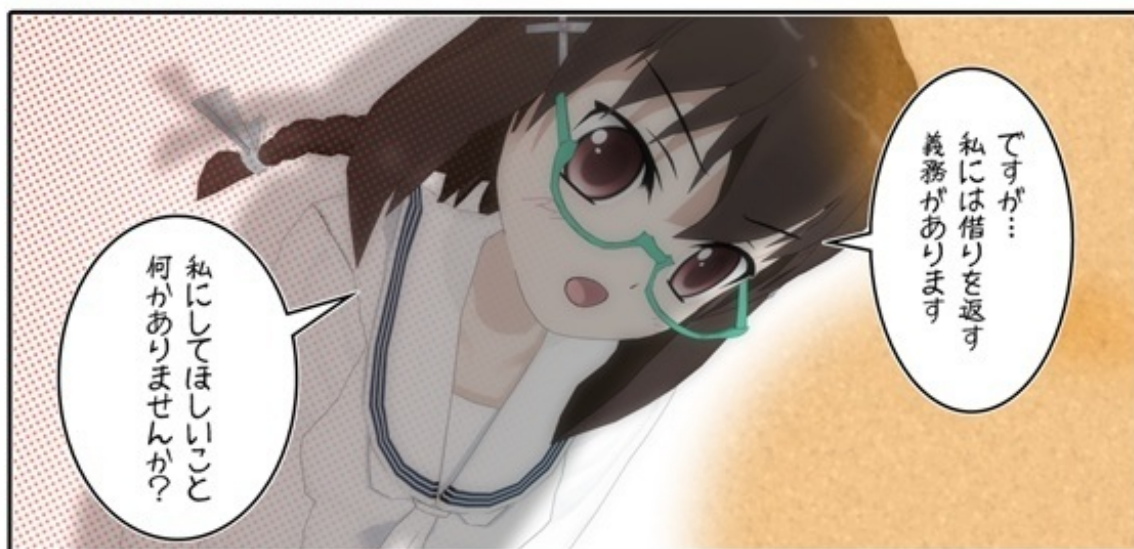


……

無茶苦茶ですね

だから私も
あの未来を変えたいと
思ったの







あの事故以降
私は未来をみる事が
なくなった

でも…もう少しだけ
黙ってしよう

おそらく記憶を
伝達する力も
なくなったと思う



近年…不思議な現象が
人類に浸透しつつあった

未来観測研究会 VOL.6

それは未来観測という
現象だ

しかしその現象の
ほとんどが人の死を
予言させる内容であり

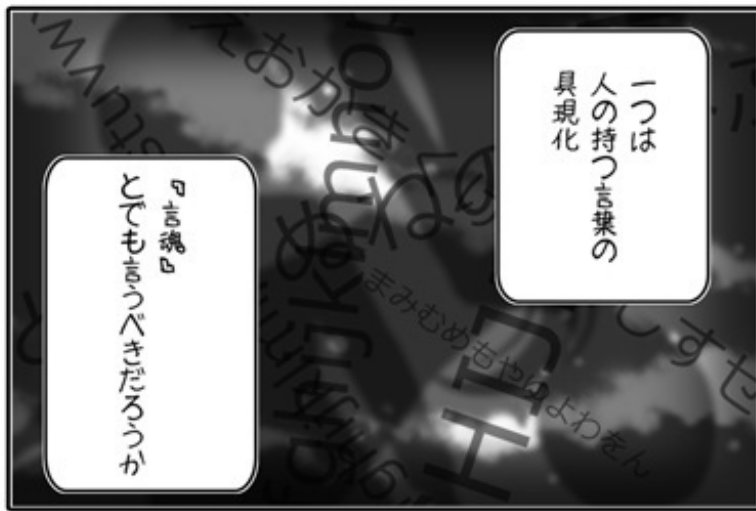
その惨状に
精神を悩まされ

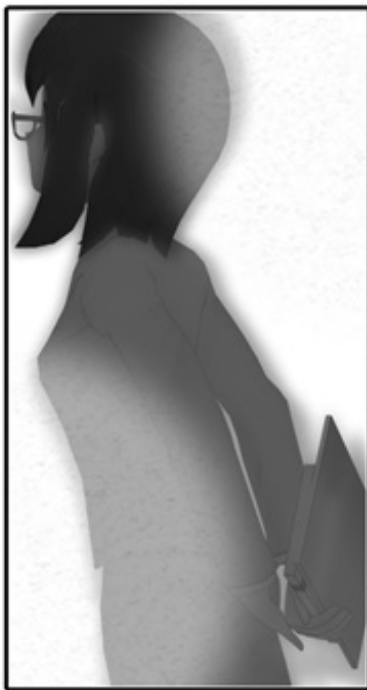
私はこの現象を
「未来観測症候群」
と名付け

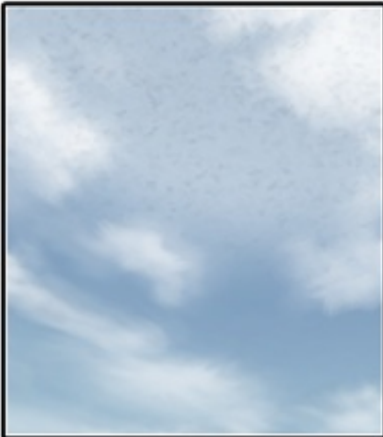
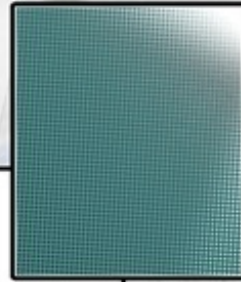
自らの命を絶つ者も
少なくなかった

社会的にも
問題視され始めた

研究を続けている









人が創りだす
言魂…

それは
時間軸に囚われない

そして人の進化に
よる言魂の自動回収…

それによって起きる
未来観測症候群…ですか

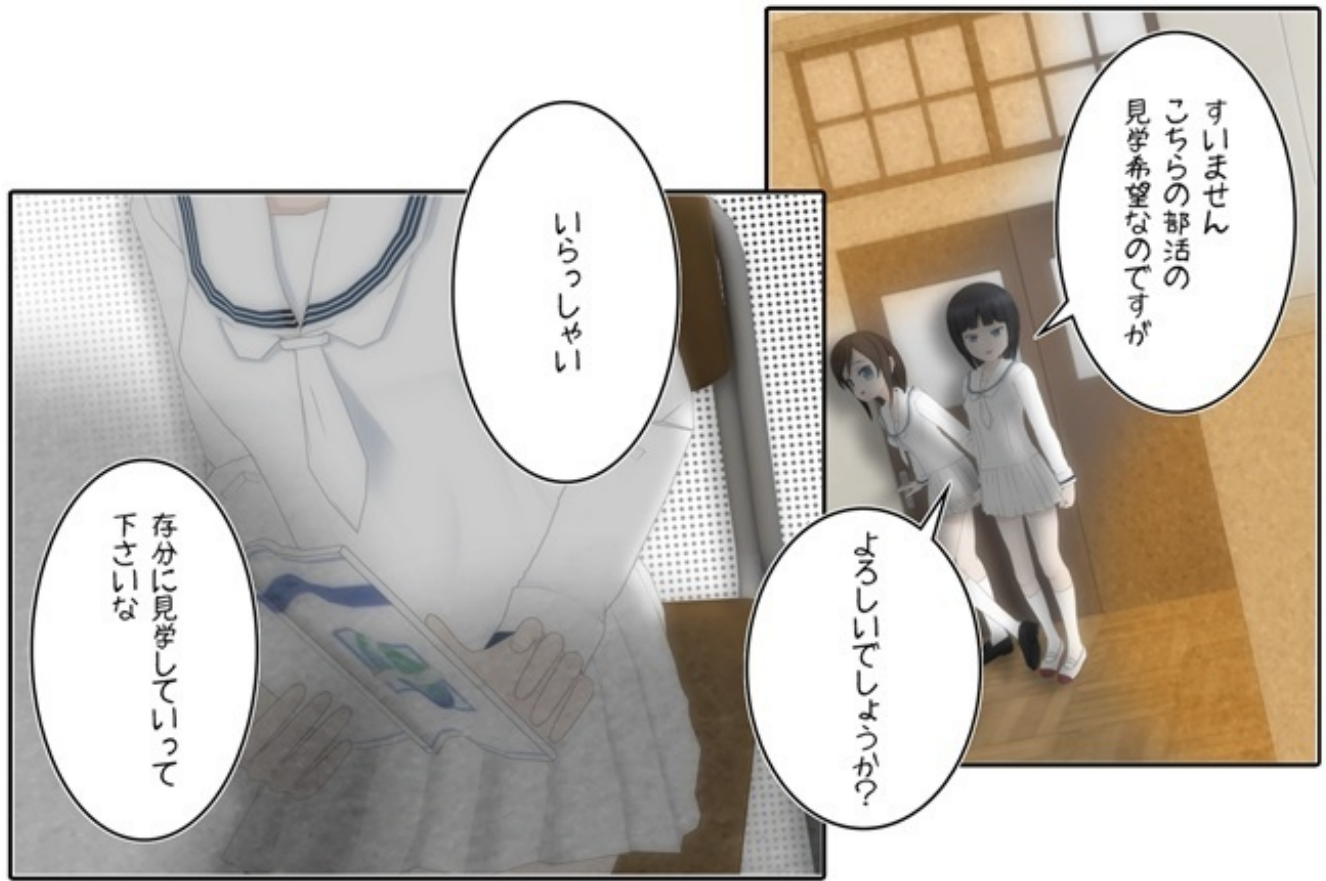


あら…？

誰か
来たようね



失礼します



未来観測研究会

<http://p.booklog.jp/book/69145>

著者：窓際ななみ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/madobenanami/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/69145>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/69145>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ